

労働運動全国交流集会「レバカレ2025」

10月11日〜13日、労働運動全国交流集会「レバカレ2025」(全労連・レバカレ実行委員会主催)が開催され、全国の仲間約700人が参加して、70の分科会と3つの全体会で当事者同士が労働運動の実践や教訓を交流し、職場と社会を変えるヒントを学び合いました。

分科会「全員対象のストライキをやってみて」を主催

生協労連 おおさかパルコプ労組書記長 平田智也



パルコプ労組「全員対象のストライキをやってみて」分科会

おおさかパルコプ労組書記長 平田智也

労働組合(以下パル労組)は7人が参加して、2日目に「全員対象のストライキをやってみて」というテーマで分科会を主催しました。最初にパル労組のストライキ決行に至るまでのプロセスと、スト決行前と決行後の気持ちの変化などを紹介しました。報告のポイント「ストライキに對し消極的な声が多かったが、みんなで議論して自分たちのできるストライキをみんなで決め、みんなで行動した」「ストをやってみて多くの組合員が団結やたかひの重要性に気づいた」というものです。報告の後はパル労組でいつも行っている会議スタイルでもある小グループに分かれて「報告を聞いての感想」「要求実現のために何が必要か、全員ストをする

仲間づくりを盛り上げよう

JMITU大阪地方本部執行委員長 山田忠明

私は5つの分科会に参加しました。正規と非正規の分科会では、ワークシヨップ形式でそれぞれの職場での非正規雇用の実態を出し合っている議論で、公務の方の「会計年度任用職員」の格差を知り、私の職場の実態にもアドバイスをもらい、どのような要求を作っているのかを学びました。

結の作り方が素晴らしいと思った。要求の作り方、学習の方法等、参考になる部分があった。なごの感想が寄せられました。パル労組の参加メンバーも分科会を運営したことや気づきや学び、そして自分たちのたたかい方への確信につながりました。



大阪からの参加者

「対話と学びあい」が大切

大阪労連・大阪市区協議会事務局次長 山崎由貴

私が参加した分科会の1つでは、愛知県保育士が子どもの気持ちに寄り添う保育を、もう一人保育士を！の一点から労働組合、保護者、地域住民が実行委員会を立ち上げたこと。その運動が全国に広がることで、政府を動かし、昨年度76年ぶりに保育士の配置基準の見直しを勝ちとった経験を紹介されました。「職場には組合があり、保護者へ働きかけやすかった」「保護者の声が運動を動かした」との発言に、組合が職場にあることの意義、組合が要求を保護者、地域に働きかけ、共感を広げれば社会を大きく動かす力になること、組合には社会的な役割があることを実感しました。

最後に私の感じたことですが、グループディスカッション・ワークシヨップでも同じ仲間として気軽に話が来て、楽しく過ごせました。また、労働組合の組織率は年々下がっていると言われますが、「このレバカレがきっかけになってなまづくりを盛り上げていく」と確信が持てる交流会でした。

ワーキングプアが支える自治体の公共サービスがこれでいいのか？



10月28日、大阪労連と大阪自治労連は、「自治体で働く職員の賃金・労働条件に関するアンケート」結果を記者会見で発表しました。非正規公務員の比率が、40%超16自治体、50%超15自治体、60%超4自治体と年々非正規率が高まっていることを報告しました。また、会計年度任用職員の仲間からは、「非正規公務員は、最低賃金に近い人たちが改善が必要です。」



中之島公園で「輝け憲法！おおさか総がかり集会」が開催されました。集会の中で京都大学教授の高山佳奈子さんは「今、デマが飛び回っている、そんな中現実を見ることが大切だ。核兵器にお金をかけた方が安くすむという意見があるが、憲法9条が一番安上がりで、ただ、日本から平和を求める声を発信し、世界の仲間と連帯して運動を広げよう」と訴えました。

国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

家族を巻き込むカジノは反対



10月7日、カジノ反対大阪連絡会は「カジノのマイナス経済学」をテーマに学習会を開催しました。参加者から「ギャンブルの被害は家族などに拡散されていることを知った」「他人ごとではないと強く考えさせられた」との感想が寄せられました。

労働組合に入ろう・北摂地区協宣伝行動



10月11日、北摂地区協議会はJR茨木駅で「最低賃金周知宣伝」と「組織拡大宣伝」にとりくみ、「労働組合に入って一緒に声をあげよう」「全国一律最低賃金制度の実現、最賃今すぐ1500円、めざせ1700円」と訴えピラを300枚配布しました。

台湾の労働組合との交流



10月30日、大阪労連は台湾にある台北市産業労働組合総連合と懇談を行いました。最低賃金や非正規労働者・ケア労働者の実態、ハラスメント問題など労働者を巡る状況について共有して懇談を行い、交流を深めました。

2026春闘勝利！要求実現のため対話と学びあいで仲間を増やそう



10月31日、大阪春闘共闘委員会結成総会を開催しました。総会では「2025年改正労働安全衛生法令その概要と要点」をテーマに大阪労働健康安全センター事務局長の丹野弘さんを講師に学習し、秋 seasons末闘争の状況、春闘に向けたとりくみを交流しました。